



幼児期と小学校の学びはつながっています



幼児期 遊びを通した学び

豊かな体験を通じて、感じたり、気付いたり、分かったり、できるようになったりする「知識及び技能の基礎」

気付いたことや、できるようになったことなどを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする「思考力、判断力、表現力等の基礎」

心情、意欲、態度が育つ中で、よりよい生活を営もうとする「学びに向かう力、人間性等」

小学校 各教科等を通した学び

何を理解しているか、何ができるかに関わる、実際の社会や生活で生きて働く「知識及び技能」

理解していることやできることをどう使うかに関わる、未知の状況にも対応できる「思考力、判断力、表現力等」

どのように社会や世界と関わり、よりよい人生を送るかに関わる、学んだことを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力、人間性等」

5歳児後半から小学校入学時にかけての取組例

幼児教育施設

- 同じ目標に向かって、みんなの力を合わせ、やり遂げることの喜びを味わう経験を重視
- 興味・関心をもとに、試行錯誤しながら探究することを楽しむ活動の積み重ね
- 自分の言葉で、相手に思いや困っていることを伝える場面を意図的に設定



小学校

- 子どもが安心感をもてるような幼児期とできるだけ近い環境づくり
- 幼児期の経験を引き出しながら進める授業
- 生活リズムや集中力、意識の高まりを考慮しながら、時間配分を工夫



子どもたちは、幼児期で学んだことを生かしながら、小学校で学んでいきます。日常生活で遊びや好きなことに没頭できる体験を大切にすることで、お子さんの非認知能力を伸ばすことにつながり、小学校以降の学びにもよい影響を与えます。お子さんが安心して小学校でも力を発揮できるよう、後押ししていきましょう。

幼児期の教育から小学校教育へ 安心子育てリーフレット



きときと 1年生

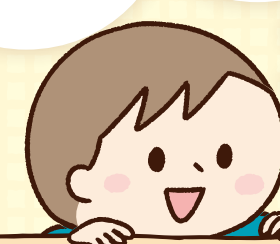
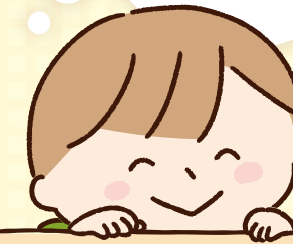
小学校では
どんな学習を
するのか
楽しみだな。

友達と
たくさん
話し合い
たいな。

いろいろな
ことに
挑戦したいな。

最後まで
粘り強く
がんばるよ。

学校での
出来事を
伝えるよ。
応援してね。



お子さんの小学校入学を前に、「何をさせておいたらよいのか」「文字や計算を教えておけばよいのか」などと少し不安になっておられる保護者の方もおられるかもしれません。大切なのは、普段からのお子さんへの声かけや関わりを通して、「自分を高める力」「自分と向き合う力」「他者と関わる力」などの非認知能力といわれる力を意識して伸ばすことです。

お子さんが安心して小学校生活をスタートし、これまで付けてきた力をさらに伸ばしていけるよう、ご家庭でどのような声かけや関わり方をしていけばよいかを一緒に考えましょう。

富山県教育委員会

令和8年9月



お子さんの**非認知能力**を育む声かけや関わりの場面が、家庭にもたくさんあります。

自分を高める力

意欲、好奇心、創造性など

やってみたいことに思い切って取り組んだ経験が、さらなる知的好奇心につながり、意欲が育っていきます。

お子さんが料理のお手伝いをしている場面



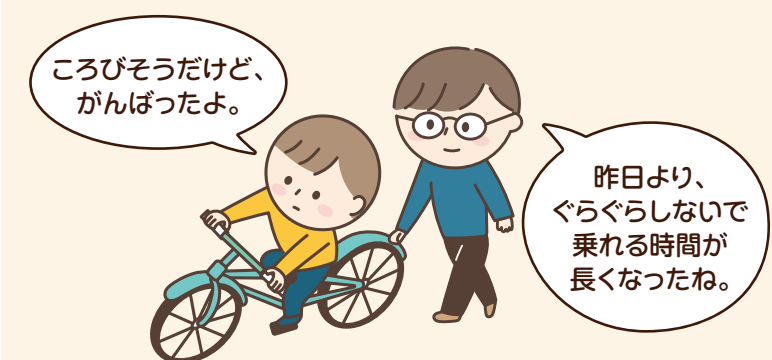
- やってみたい **気持ちを受け止めて尊重** する。
- 手や口を出しすぎずに **見守る**。
- できたことをすかさずその場で **ほめる**。
- 失敗しても **励まし**、もう一度やってみよう **促す**。
- 大人も **一緒に楽しんで** やってみる。

自分と向き合う力

自己肯定感、自制心、やり抜く力など

何かを最後までやり遂げた経験が、自分の自信につながり、少し難しい目標に対しても、チャレンジしようという気持ちが育ちます。

お子さんが自転車に乗る練習をしている場面



- がんばっている **努力の過程をほめる**。
- 小さい **変化** を見付けて、**具体的に** 言葉で伝える。
- 困っていることを言えたときは、しっかり **受け止める**。
- そばで見守っていることを伝え、**安心** させる。
- 目標を達成できたときは、大人も **一緒に喜ぶ**。

他者と関わる力

コミュニケーション力、協調性、思いやりなど

家族や友達とやり取りすることで、伝える喜びを味わいます。話を聞いてもらった経験が、相手の話を聞こうとする姿につながります。

お子さんが園であったことを話している場面



- 何をどうしたいのか、**思いを聞き出す**。
- うまく話せないときは、**答えやすい質問** をする。
- 喜怒哀楽を出しながらやりとりを **一緒に楽しむ**。
- 相手の思いも考えてみるよう **促す**。
- 一緒にできて **よかったと思える** ようにする。

このような場面では、どのような声かけや関わり方をしたらよいでしょうか。

scene1

今日は、わたしがお隣に、
回覧板を持って行って
あげるね。



scene2

本物みたいな
大きい恐竜を作りたい。
この段ボールを使おう。



scene3

ぼくもお兄ちゃんみたいに、
よく飛ぶ紙飛行機を
折れるようになりたい。



scene4

早く代わって
くれないかなあ。
もう待ちくたびれたよ。



scene5

おばあちゃんの
荷物が重たそうだから、
ぼくが半分持つよ。



scene6

雪かき、
もうちょっとで
終わるね。

